

平成19年度

決算報告書

第4期

国立大学法人 徳島大学

## 平成19年度 決算報告書

国立大学法人徳島大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	14,841	14,999	158	(注1)
施設整備費補助金	1,413	1,552	139	
補助金等収入	0	182	182	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	45	45	0	
自己収入	17,803	19,795	1,992	
授業料、入学料及び検定料収入	4,468	4,458	△10	(注3)
附属病院収入	13,020	14,880	1,860	(注4)
雑収入	315	457	142	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,027	2,402	375	(注6)
長期借入金収入	2,097	2,030	△67	
承継剰余金	－	0	0	
目的積立金取崩	－	421	421	
計	38,226	41,426	3,200	
支出				
業務費	28,214	29,298	1,084	(注7)
教育研究経費	16,125	15,203	△922	
診療経費	12,089	14,095	2,006	
一般管理費	1,377	1,406	29	(注8)
施設整備費	3,556	3,601	45	
補助金等	－	182	182	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,027	2,598	571	(注10)
長期借入金償還金	3,052	3,041	△11	
計	38,226	40,126	1,900	
収入－支出	0	1,300	1,300	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった退職者の増により、予算金額に比して決算金額が158百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が182百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者の減により、予算金額に比して決算金額が10百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮、手術件数の増及び患者数の増等により予算金額に比して決算金額が1,860百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入及び研究関連収入等により、予

- 算金額に比して決算金額が142百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった国、特殊法人及び民間からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が375百万円多額となっています。
- (注7) 業務費については、(注4)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,084百万円多額となっています。
- (注8) 一般管理費については、(注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が29百万円多額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が182百万円多額となっています。
- (注10) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が571百万円多額となっています。